

第2回 成美市民学院・地方創生セミナー

(第3回 地方創生研究会)

成美大学では一般公開講座「成美市民大学」をキャンパス内や福知山駅前の「市民交流プラザふくちやま」で実施してきました。この度、専門性を高めたスペシャル講座として「成美市民学院・地方創生セミナー」を開講します。

◆日時：8月23日(日) 14～17時

◆会場：市民交流プラザ

ふくちやま会議室 4-1

(京都府福知山市駅前町 400 番地)

◆費用：無料



航空宇宙産業は 50 兆円(世界生産ベース)規模の有望な市場に支えられ、将来においても毎年数パーセントの成長が期待されている。しかし一般に、同産業への参入には①高度な技術的レベルの制約、②特殊な受注・納期・出荷体制の整備をはじめ、様々な障壁がある。そのため多くの航空機関連企業は、何らかの形で企業間連携を行い対応しているのが現状である。秋田県では県主導でコンソーシアムを形成し、企業間での共同受注・技術の移転等の支援をしている。

高度で多様な技術が集積している福知山市で、新しい産業を創出するための有効手段は企業間連携である。各企業の強みを生かした協同事業は概念として定着しているが、実行には困難が伴う。このたび秋田県産業労働部で輸送機コンソーシアム運営の実質的な責任者である斎藤耕治主幹に、企業間連携の秘訣に関する話を伺います。プレゼンテーションテーマは「航空宇宙産業の現状と参入への考慮点」を予定しています。プレゼンテーションの後は質疑応答セッションを用意していますので、多数の皆様の参加をお願いします。

「航空機産業の現状と参入への考慮点」

講 師：秋田県産業労働部地域産業振興技術振興班
斎藤 耕治 主幹（兼）班長

秋田県の航空宇宙産業育成の取り組みは、2006年12月に地域中小企業5社による秋田輸送機コンソーシアム(ASCA)結成から始まった。2007年10月には、産技連東北地域部会の下に ASCAなどを母体として東北航空宇宙産業研究会(TAIF)発足させ、以後、航空機メーカー、経済産業局、地方行政、大学等を巻き込みながら進めてきた。最近になって、東北地域において航空機部品を一貫生産するサプライチェーンの形成が見えてきた。

今日までの経緯を辿りながら、地方にどうやって産業を起こし、地域の力としていかにについて議論させていただきます。



【講師プロフィール】

昭和 63 年 3 月 秋田大学大学院生産機械学専攻修了。横河電機株式会社勤務を経て、平成 4 年秋田県高度技術研究所入所。

現在は秋田県産業労働部地域産業振興課技術振興主幹(兼)班長、産業技術センター技術イノベーション部兼務。鉄鋼・化学プラント等の計装システム設計、電子部品向けレーザー溶接システムの開発を手掛ける。博士(工学)秋田大学。

●申込方法：氏名・連絡先等を明記の上、前日までに Mail か Fax にてお願いします。(Tel も可)

●交通案内：福知山駅北口徒歩 1 分。お車の方は交流プラザ駐車場(90 分まで無料)をご利用いただけます。

●その他：第3回市民学院講座の内容や講師の紹介は本学HP (<http://uv.seibi-gakuen.ac.jp>) 等で発表します。

【お申込み・お問い合わせ先】成美大学 地域活性化センター

Mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp Fax: 0773-24-7170

Tel: 0773-24-7100 (受付時間は平日 9~17 時)